

令和3年度日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同 災害救護訓練 参加報告



日 時 令和3年11月13日(土) 7:30~22:30
会 場 香川県各所
参 加 日本赤十字社鳥取県支部救護班第1班



訓練目的

大規模災害発生時に赤十字独自のネットワーク力を活用して被災地に集合し、迅速かつ適切な医療救護活動を行うことができるよう、第5ブロック各県支部相互支援体制の確立と防災関係機関との連携強化を図ることを目的とする。特に、今回は香川県内の災害に対し、迅速で的確な情報伝達を行い、他県支部からの受援体制を確立し、これらを活用した第5ブロックの災害対応能力の向上を図ることを目的とする。

訓練想定

台風14号により、激しく降り続ける豪雨と大潮が重なり、高潮の被害及び山間部で土砂災害が発生した。

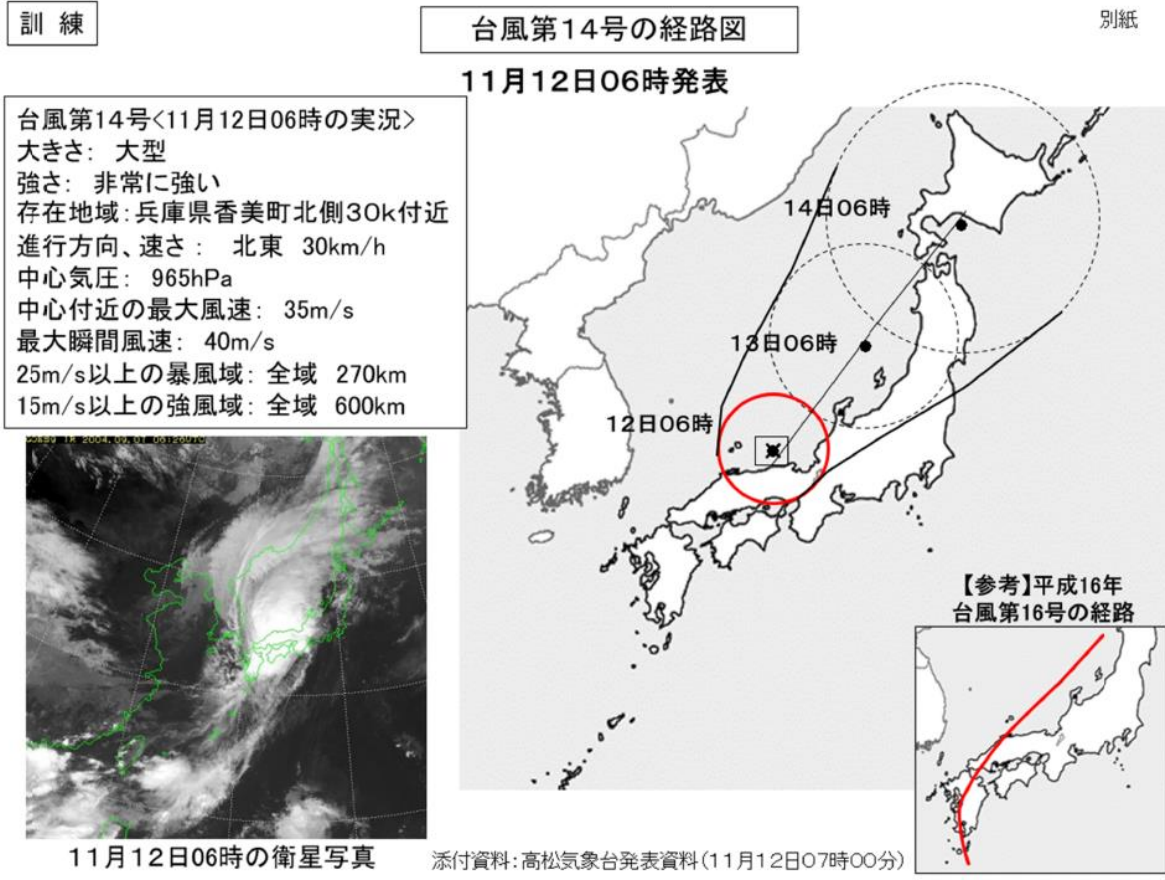
島嶼部では直島町でライフラインが中断し、高潮被害、土砂災害が発生したとボランティアから連絡が入った。

香川県内の一部地域では、地域住民がコミュニティセンターに避難している。

香川県支部では直ちに災害対策本部を立ち上げ、情報収集を開始し、第5ブロック各県支部の連携協力の下、被災地避難所（避難所4カ所程度）の救護活動を実施する。

道路状況は土砂崩れのため一部通行止めとなっている。

ライフラインも一部電気、水道、ガスが不通となっている。



日本赤十字社鳥取県支部救護班第1班の携行資機材

日本赤十字社鳥取県支部

【車 両】

通信指令車（搬送不可、ワイドスターII、にっせきとっとり1、せきじゅうじとっとり1）

【通 信】

可搬型衛星電話（ワイドスターII）、にっせきとっとり101、せきじゅうじとっとり101、スピーカー、Wi-Fiルーター×2（ドコモ、UQコミュニケーションズ）、モバイルプリンタ、Webカメラマイク一式、Let'sNote×2、iPad×2、surface×2、iPhone×2、モバイルプロジェクター×2、トランシーバー×2

【電 源】

モバイルバッテリー×5、ソーラーチャージャー×2、ポータブル電源、カーチャージャー×3

【救援物資】

毛布、緊急セット、安眠セット、弾性ストッキング×20

【食 糧】

レスキューフーズ×9、発熱材セット×9、パン×9、野菜スープ×9、水×9（500ml）

鳥取赤十字病院

【車 両】

ドクターカー（搬送可能、BGAN、にっせきとっとり11、せきじゅうじとっとり11）

【通 信】

可搬型衛星電話（BGAN）、Wi-Fiルーター（UQコミュニケーションズ）、モバイルプリンタ、iPad×2

【医療資機材】

標準診療セット一式、事務用品セット、携帯型超音波器、吸引器、ベッドサイドモニター×2、酸素一式、A E D、感染対策防護具一式、個人防護具一式

日本赤十字社鳥取県支部救護班第1班の活動

07:30 被災地に向け出発

08:30 日赤香川県支部災害対策本部会議参加

- ・移動中の車内及び鳥取道福原 P A で W e b 参加

12:15 日赤香川県支部災害対策本部 到着

- ・本部要員より状況を確認
- ・活動内容決定（四番丁小学校跡地避難所活動）

12:30 日赤香川県支部災害対策本部会議参加

- ・被災状況、日赤の活動状況、他機関との連携状況等を把握

13:10 四番丁小学校跡地 到着

- ・徳島県支部・高知県支部赤十字救護班より活動引き継ぎ
- ・島根県支部赤十字救護班と協働決定

13:30 救護班のチームビルディング後、活動開始

- ・避難所救護所（dERU）運営（医師1、看護師長1、看護師2、薬剤師1、主事2、災害対策本部要員2）
- ・避難所アセスメント（看護師長1、看護師2、主事3）
- ・現地本部（通信、記録、食事）（主事1、災害対策本部要員1）

16:00 活動終了

16:30 日赤香川県支部災害対策本部会議参加

- ・鳥取県支部・島根県支部救護班の救護活動報告
- ・避難所の保健衛生環境の懸念、救護所の撤収見込みを報告

17:30 日赤香川県支部災害対策本部 出発

22:30 帰着



日赤香川県支部災対本部会議にWeb形式で参加（鳥取道福原PA）

- ・オンライン会議は走行中の車内でもPAでも問題なく参加できた。
- ・モバイルプロジェクターとクロノロシートを活用した。
- ・今月に配備したばかりの5G Wi-Fiルーターは非常に有用だった。



日赤香川県支部災対本部に到着し、活動打合せと全体会議に参加

- 協議の結果、四番丁小学校跡地避難所及び避難所救護所の運営が決定した。
- 活動場所へは現地の防災ボランティアに搬送していただいた。
- 本部では日赤災害医療CoT同士の顔の見える関係がスムーズな活動につながった。



四番丁小学校跡地に到着

- ・ 徳島県支部・高知県支部救護班から避難所と救護所の運営を引継ぎ（全体、職種別）
- ・ 日赤島根県支部救護班とチームビルディング➡3チーム（救護所、避難所、現地本部）
- ・ 避難所救護所は高知県支部のdERUを使用。



救護活動の様子（救護所）

- 診療は計11名、全員の処置を実施して、3名が救急隊による病院搬送となった。
- 避難所への往診やストレッチャー搬送のニーズにも対応できた。
- 途中、ミーティングを実施して、救護所の運営状況を確認。

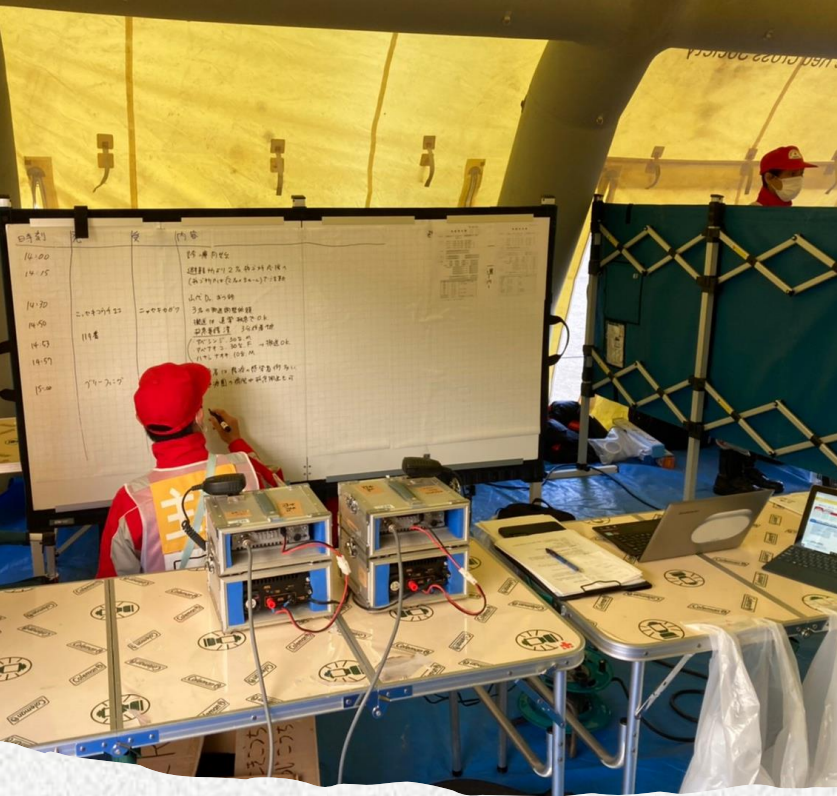
[illegible]

避難所における新型コロナウイルス感染症対策簡易チェックシート

- ☒ 入所時のヒアリング、名簿作成ができています。(帰国者などの把握のため)
- ※芦北町避難所開設・運営マニュアルに基づき、「避難所における感染評価(症候群サーベイランス)用紙」で把握。
- ☒ 入口で検温している。
- ☒ 日々の検温ができるようになっていて、それが周知されている。
- ☒ アルコール消毒液を設置している。
- ☒ 手洗いの環境がある。←手洗い場を確保している
- ☒ 配布用マスクがある。←あり
- ☒ 避難者が密になっていない。
- ☒ 換気している。
- ☒ 有症状者用の個室、または区切られた場所があり、動線が分けられている。
- ☒ 手洗い、うがい喚起ポスターの掲示がある。
- ☒ 土足と上履きの区分が明確化されている。

救護活動の様子（避難所）

- ・ 看護師と主事が2名1組ペアとなり、避難者の健康状態や避難所の衛生環境をスクリーニング。
- ・ コロナ禍の避難所運営のため、手指消毒やマスクの着用を徹底して活動した。
- ・ 救護所と併せて各種適切なツールを使用して情報共有した。（EMIS,J-SPEED,避難所日報等）



救護活動の様子（現地本部）

- 傷病者リストとベッドコントロール表、クロノロと組織図を作成。
- 避難所の衛生環境の悪化を懸念し、にっせき無線を使用して香川県支部災対本部と入浴施設を調整。
- 非常食を作成したが、なかなか食べる時間が取れなかった。



オフショット

- 最新の通信機器に興味津々の班長。
- 道中、日赤災害医療CoTが支援に駆け付け。
- dERUの片付けの様子。